

太田研究室（生態系サービス論）

教員名：太田貴大

● どんな研究をしているところ？ どんなことに役立つの？

生態系サービス学研究室では、私たち人間が森林や海などから得ている**自然の恵み（生態系サービス）**を、様々な政策の中で中心的に扱ってもらうにはどうしたらよいかを考えています。政策の中で生態系サービスを中心に置いて考えることが最終目的ではなく、私たち人間が自然環境に依存しなければ存在できないことを認識し、最終的には人間と自然環境とが共生できる社会の実現を目指しています。

生態系サービスの量や質を実感してもらう方法は色々ありますが、常に実社会の中で多くの人たちに納得してもらえる方法を追求しています。そのため、一つの学問領域にとらわれることなく、横断的に学問を参照します。

● 研究テーマ

1. 日常生活で受益を**実感しにくい生態系サービスの価値**を、金銭的単位や生物物理的単位などを用いて、分かりやすく表現する

例：里山里海サービスの経済価値評価、自然保護団体の社会的ネットワークの可視化、自然環境のスピリチュアリティの定量的評価、サステナビリティ評価手法の開発

2. 生態系サービスを**中心的に考える政策**を実施し、政策を多くの人たちに受け入れてもらうために、必要となる**働きかけの方法**を作り出す

例：森林環境税政策におけるソーシャル・マーケティング、生態系サービス受益量推定と科学コミュニケーション、生物多様性オフセットでの生態系サービス再生の実践

3. 自然環境を私たち人間がどのように捉えることで、**環境共生社会の実現**につながるのか、**自然環境と人間との新たな関係性**を模索して提案する

例：自然と人との「間（あいだ）」の新たなあり方を探求するエコソフィーの実践

● 先輩はどんなところに就職しているの？

今年から始まった新しい研究室なので、まだ先輩はいません。私たちが日々ふれるものごとの多くが生態系サービスです。生態系サービスを研究するには、「**広く深く**」様々なことに興味を持つ必要があります。これからの卒業生には、このような考え方や姿勢を身につけてもらい、どのような分野で働いても、生態系サービスひいては自然環境のことを中心的に考えて、ものごとを決定できる人材になってもらいたいと思います。